

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400143		
法人名	有限会社ジュコウ		
事業所名	あったか広場一会(2階)		
所在地	島田市東町1116		
自己評価作成日	平成30年9月19日	評価結果市町村受理日	平成31年2月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2295400143-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2295400143-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成30年9月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所の理念でもあります一期一会を大切に利用者様だけでなく地域の方々一人一人にも多くの人に認知症の予防や啓発が出来るよう昨年から行っている認知症サポーターはもちろん今年からは、認知症カフェや島田市独自で行っている介護予防「島トレ」を開催し、地域に密着した活動に全力で取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成28年6月事業所開設から電気治療器利用を地域住民に無料提供するなどして信頼を集め、介護支援専門員や島田市民病院とも密な連携がとれるまでに至り、現在は満床で空室待ちもあります。毎月10日までにポスター、ちらしを持ち込めば地域での掲示や回覧を推進くださる自治会長が応援者として、市役所の提案依頼で始まったオレンジカフェ(島田市内の認知症カフェは同名称で統一)に毎月14、5名の地域住民が集うのも頷けます。島トレ(島田市っ歌り体操、しぞ〜かでん伝体操をメニューとする介護予防の教室)にも事業所玄関で身動きがとれなくなるほど、毎週人が集まってい「地域と伴にある」ことが誉な事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	月1回全体会議において地域密着型サービスの意義、事業所理念等について話し合い実践につなげるよう努力している	「一期一会」の具体的な実践方法として、「身だしなみに気をつけましょう」「挨拶を～」といった細目について毎月の全体会議で確認しており、どの職員も朗らかで礼儀正しい受け答えができています。特に、感謝の気持ち「ありがとうございます」がずっと出てくるのが印象的です。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	継続してヘルストロンによる交流の他、認知症カフェ・島トレを開催し、認知症の人の理解や地域の一員として交流を図っている	焼きそばやフランクフルトを振舞う事業所主催の納涼祭や時節行事の敬老会、クリスマス会には家族だけでなく、地域からの参加者も少なくありません。電気治療器と認知症カフェ、島トレでの交流が弾みとなり、民生委員からも野菜が届くこともあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーター養成講座・認知症カフェ・島トレ等、地域の人々に向けた活動に取り組んでいる		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議開催により自治会が非常に協力してくれる為、地域の人々にあつたか広場一会の認知度が定着してきておりサービス向上に向けて意見を取り入れている	「福祉避難所になっているので地域に更に広く、深く浸透したい」「市役所との連携も今以上に密にしていきたい」という考えを実現させるものとして運営推進会議を位置付けており、特に自治会長には連携の要となってもらえています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市とは出来る限り連携を図っており市と協力し認知症カフェや島トレの普及を行っている	地域包括支援センターの提案依頼からオレンジカフェ(毎回14、5名の参加有り)、島トレ(島田市っ歌り体操、しぞ〜かでん伝体操をメニューとする介護予防の教室)を開催し、先月は放課後デイサービスに通う児童の職場見学を市役所の申し入れで実施しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	引き続き研修やマニュアル等の見直しを行い職員には身体拘束はしない介護を目指すよう指導している	「身体拘束委員会会議」は本年度の改正前から開催しており、4月以降は5月と8月に終わっています。現在の利用者の症状と、そこから予見されるリスクや症状変化について身体拘束排除の観点から話し合う場となって昇華していることを書面を通して確認できます。	「身体拘束委員会会議」は、排除といった言葉をいれた名称にすると、なお良いと思います。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、職員は内外部の研修に参加し意識の強化に努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する内部研修を行い成年後見制度のついて学ぶ機会を作っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時及び契約後に関しても入所者様及びご家族に対して疑問があれば丁寧にその都度対応している。改定がある場合は必ず書面にて説明・確認をしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「あったかだより」を作成し、行事や外出レクの様子をお知らせし安心して頂けるよう努力しています。運営推進会議にも出来る限り参加して頂けるようお願いしています	全家族がサービス担当者会議に出席くださり、合意形成が担保されています。また大半の家族は頻りに面会に訪れるほか敬老会には親戚も含み56人が集まっています。なかなか時間がつかれない家族も事業所発行の「あったかだより」で状況把握が叶っています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が少しでも休憩時間にくつろげるようにコーヒーマーカーの導入、夜勤手当や休日出勤手当等やり甲斐がある職場作りを行っている	代表をはじめ幹部にフォローアップがあるからか、職員は普段から言いたいことが言えていて、オープンな文化風土が形成されています。電気治療器を自由に使用して疲労解消の機会はあるものの、「休憩時間にホッと～」との管理者の進言で新たに珈琲マシンも購入されています	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月2回定期的な全体会議を行い、職員意見の反映を行い細事については、各自が面談を希望する為その都度対応している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加を積極的に推奨し内部でも職員を育てる環境を作る為アッセサー資格を持つ職員を配置出来るよう養成中である		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質の向上させていく取り組みをしている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションを大切にしご本人の訴えに対して必ず応えるようにし本人の嫌がることは生命の危険がない限り行わず、安心して頂けるよう関係作りを行う		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設内の見学、説明等を行い、入所前には何回かご家族と面談し家族の困っていること、不安なことを聞き要望に応えるように努力している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族の意見、意向を聞き病状等と併せてしっかりとアセスメントを行いニーズに合ったサービスの提案・助言を行っている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人と一緒に近所のスーパーに買い物に行ったり食事の準備や洗濯物のたたみ等をご本人の出来ることを一人一人見つけ、共に生活する関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族は出来る限り介護に参加して頂きたいので病院への受診・行事への参加・面会等ご本人を支える関係を作り、機会を作っている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所後も近所の方々や友人が訪問して頂ける明るい雰囲気や対応に努めている	家族の来訪を歓迎しており、毎日のように面会が見られ、弁当持参などと「此処を自宅のように過ごす」ような家族が5、6名います。また友人の来所も多く、友人と静岡まで足を延ばしてレストランで外食をして戻ってくる、といった例もあります。	大人の塗り絵として陰影がある素晴らしい作品ということもあり、塗り絵に日々没頭する人とその作品に光を当てるような取組み(例:展示会等)があると、なお良いと思います。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者様同士の関係が良好に保たれるよう食事の席や行事、外出等個人の状況を把握し支援している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の経過をお伺いしたり、退居後のご家族からの問い合わせ等に対する支援に努めている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できる限り一人一人の思いや暮らし方について対応出来るよう話を伺い買い物や食事、外出時には家族と相談し外泊の機会を作るなど意向に添えるよう対応している	「家に帰りたい」「足をさすって」「ここ痛い」と、ある意味我儘な利用者の声への対応が毎日繰り返されていますが、職員は真摯に傾聴しています。利用者も職員を頼りとしている様子があり、また利用者同士も「熱いよ(お茶)」と気遣う等、相互扶助の姿も見られました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご家族様ご本人様から情報収集させて頂きサービス提供に生かしている。ご家族の環境に近づけたいので家で利用していた物を持ってきて頂けるようご家族にお願いしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の日々の状態観察やご家族との定期的な情報収集と経過報告をし、暮らしの現状把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開催しご本人・ご家族の意向を聞き、フロア会議にて職員と話し合い計画を作成している	フロア会議(グループホームのみの会議)で職員意見をプランに反映し、各ユニットの計画作成担当者が書面化しています。他サービスを利用する例はありませんが、1階にあるパワリハビリの機器を利用しての筋力トレーニングが組み込まれている人もいます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援経過、排泄、日報、申し送り等の記録を充実させ情報の共有を図り実践に生かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	無料による病院への送迎や毎日朝からの面会に来る奥様の受入等柔軟な対応、サービスの多機能化に取り組んでいる		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の夏祭りや子供御輿に参加出来るよう自治体に協力して貰い、ご本人が楽しむことができるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望を尊重し適切な医療が受けられるようかかりつけ医と連携を図り支援している	在宅の頃からのかかりつけ医を全員が継続しており、家族が受診支援をおこなっています。家族が不都合となれば職員が代行するようにしていますが、家族からは口頭で報告を受け、「受診記録」に記録を残しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師の為常時入居者の状況は把握出来ている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な訪問の他入院時介護サマリーを作成し医療との連携を図っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時当事業所で看取りをして欲しいとご家族が増えている為ご本人・ご家族の意向を伺い主治医の意見を踏まえてチームとして支援に取り組んでいる	契約の段階で家族からは「やってもらえますよね」と積極的な投げかけがあり、開設から2年と間もないものの2名をお見送りしています。契約書と重要事項説明書には「医療上の支援」「緊急時対応」がありますが、重度化・看取りの指針は別紙となっています。	リスクマネジメントとして「延命治療」についての、家族の意向書をもっておくことを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの研修や緊急時の対応マニュアルを定期的に確認している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	「(家事の場合は通報装置がありますが救急車は)携帯からかけると部署をいくつか経るため連絡が遅くなる」	年2回の法定訓練のうち1回は消防者に入ってもらい、「救急車コールは携帯からしないように。く固定電話でないと時間がかかる」等具体的に指導を得ています。避難場所として市の指定を受けているとともに地区社協から防災グッズ8袋の寄贈もあって、防災での地域連携も進んでいます。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重した声掛けや入浴、排泄時にご本人が恥ずかしくないようタオルを使用してできるだけ露出を避けた対応をしている。男性で女性では恥ずかしいという入所者様に対し同性による介助を行っている	利用者の氏名はフルネーム記載しないように情報保護に努め、例えば会議記録は「○下」「坂○」といった表示方法としています。目隠しカーテン(カフェカーテン)が多用されているほか、利用者に接する職員も丁寧で穏やかな受け答えです。	個人情報保護に係る内容の同意書は家族からもらっています。肖像権についての書面は用意されていますが、現在は口頭のみのため早めに書面を交わすことを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が自己決定出来るよう個別にかかわり、声掛けをしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	脳トレ、体操、外出等必ず一人一人にお伺いしご本人のペースでご本人の過ごしたいようご希望に添えるよう対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え等は、ご本人の希望を聞きご本人に選択して頂いており身だしなみも洗面台にてご本人に声掛けして行っている。定期的な理美容への依頼やマニキュア、お化粧品等の支援もしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	週2回食事を作る機会を作り、ジャガイモの皮むきやにんじん、タマネギ等を切ってもらい職員と一緒に準備、食事、片付けをしている	日頃から洗濯たみなどをお願いして生活リハビリが充実しています。それでも「未だ足りない」として餃子づくりをはじめ参画型の献立にも取り組んでいます。食事介助が必要な人もおり、ミキサー食やゼリー状のものを職員が本人の意向を確認しつつ、手作りしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記録し把握に努めている。月1回体重測定をし健康管理に努めている。受診の際には検査データも頂いてきてもらいチェックしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施、ご本人の状態に合わせて歯ブラシやスポンジを使用している。うがいのできない利用者様には歯磨き粉ではなくお茶を利用し清潔を保持している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	安易に紙おむつを使用せず、排泄チェックシートを一人一人用意し排尿、排便リズムを把握し定期的にトイレ誘導、声かけを行い自立した排泄に向けた支援をしている	フロアに3箇所と潤沢にトイレを配し、どの居室からも近くて便利なおえ、失禁防止にも役立っています。オムツを廃止してリハビリパンツに全員替えたいうえで、尿取りパットも外せるよう取組むことで、トイレでできることとなり、事故防止と本人の安心につながっています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の状態を記録にて管理、排便がない時は、水分、食事等の調整を行いそれでも排便のない時は、医師、看護師の指示にて内服薬の調節をしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人一人の身体、皮膚状況に合わせて個別や機械浴を決め、ご本人に合った入浴を支援している	「週3日の入浴」を目安としていて、柚子やポンカンを浮かべる変わり湯も時折提供しています。浴室は3面から脚を入れることができ、高さもないため「入りやすい」と思いますが、それでも重度化となれば2人介助で「湯に浸かる喜び」を味わってもらえるよう支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息、入床して頂けるよう足浴をしたりシャワー浴をして頂く等の支援をしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬のミスがないよう2人体制で確認及び日報にチェック欄を作成し服薬を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に役割を持って生活して頂けるようご本人と話し合い、施設や居室内の片付けや認知症カフェでの手伝いや島トレへの参加など役割や楽しみごとへの支援を行っている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的な季節感を感じて頂けるよう外出レクを計画し、食事、買い物等は、利用者様より申し出があった場合は随時支援している	年間の外出行事として初詣、花見(本年は島田博物館)が位置付けられ、買い物・外食レクレーションも実施しています。隣に200坪程度の敷地があり、少しずつ利用者、職員とで植栽を始め、外気浴の一環として定着しています。	



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御本人の希望により本人管理や少額入ったお財布をご本人に管理して頂いている。又、ご家族とも相談し必要な方は、キャッシュカードも本人管理して頂いている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の入居者様は、ご本人の携帯を所持して頂き常に手紙や電話ができるよう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた掲示物の展示、共有部、各部屋の掃除を入居者様に手伝って頂き居心地よく過ごせるよう支援している	テレビは壁に取り付けられ、椅子の前脚はローラーが付いていて移動しやすく、また余り物となったカーテンの丈が足りない点は職員が工夫して加工したうえで和室の間仕切りに使用されており、総じて「快適に暮らす」という考えが浸透しています。	壁の写真掲示は年間で替えるか、年度を入れておくと良いと思います。また温度湿度計の設置を早めをお願いします。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間だけでなく地域交流室等一人一人の空間取りに配慮している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご本人、ご家族に居室を選んで頂き今までご自宅で使用されていた馴染みの物を持ってきて頂き心地よく過ごせるよう支援している	一人がけの籐椅子、小さなちゃぶ台、低めのチェストのとともに、お洒落な洋服を沢山持ち込む居室を見学しました。自宅をそのまま移設したかのように趣が感じられ、その人らしい暮らしがあることが覗えます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	テーブルやいす、浴室、トイレとう安全に配慮し個々に応じた環境作りに努めている		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400143		
法人名	有限会社ジュコウ		
事業所名	あつたか広場一会(3階)		
所在地	島田市東町1116		
自己評価作成日	平成30年9月19日	評価結果市町村受理日	平成31年2月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2295400143-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2295400143-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成30年9月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所の理念でもあります一期一会を大切に利用者様だけでなく地域の方々一人一人にも多くの人に認知症の予防や啓発が出来るよう昨年から行っている認知症サポーターはもちろん今年からは、認知症カフェや島田市独自で行っている介護予防「島トレ」を開催し、地域に密着した活動に全力で取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成28年6月事業所開設から電気治療器利用を地域住民に無料提供するなどして信頼を集め、介護支援専門員や島田市民病院とも密な連携がとれるまでに至り、現在は満床で空室待ちもあります。毎月10日までにポスター、ちらしを持ち込めば地域での掲示や回覧を推進くださる自治会長が応援者として、市役所の提案依頼で始まったオレンジカフェ(島田市内の認知症カフェは同名称で統一)に毎月14、5名の地域住民が集うのも頷けます。島トレ(島田市っ歌り体操、しぞ〜かでん体操メニューとする介護予防の教室)にも事業所玄関で身動きがとれなくなるほど、毎週人が集まってい「地域と伴にある」ことが誉な事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	月1回全体会議において地域密着型サービスの意義、事業所理念等について話し合い実践につなげるよう努力している		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	継続してヘルストロンによる交流の他、認知症カフェ・島トレを開催し、認知症の人の理解や地域の一員として交流を図っている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーター養成講座・認知症カフェ・島トレ等、地域の人々に向けた活動に取り組んでいる		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議開催により自治会が非常に協力してくれる為、地域の人々にあったか広場一会の認知度が定着してきておりサービス向上に向けて意見を取り入れている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市とは出来る限り連携を図っており市と協力し認知症カフェや島トレの普及を行っている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	引き続き研修やマニュアル等の見直しを行い職員には身体拘束をしない介護を目指すよう指導している		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、職員は内外部の研修に参加し意識の強化に努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する内部研修を行い成年後見制度のついて学ぶ機会を作っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時及び契約後に関しても入所者様及びご家族に対して疑問があれば丁寧にその都度対応している。改定がある場合は必ず書面にて説明・確認をしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「あったかだより」を作成し、行事や外出レクの様子をお知らせし安心して頂けるよう努力しています。運営推進会議にも出来る限り参加して頂けるようお願いしています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が少しでも休憩時間にくつろげるようにコーヒーマーカーの導入、夜勤手当や休日出勤手当等やり甲斐がある職場作りを行っている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月2回定期的な全体会議を行い、職員意見の反映を行い細事については、各自が面談を希望する為その都度対応している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加を積極的に推奨し内部でも職員を育てる環境を作る為アッセサー資格を持つ職員を配置出来るよう養成中である		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質の向上させていく取り組みをしている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションを大切にしご本人の訴えに対して必ず応えるようにし本人の嫌がることは生命の危険がない限り行わず、安心して頂けるよう関係作りを行う		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設内の見学、説明等を行い、入所前には何回かご家族と面談し家族の困っていること、不安なことを聞き要望に応えるように努力している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族の意見、意向を聞き病状等と併せてしっかりとアセスメントを行いニーズに合ったサービスの提案・助言を行っている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人と一緒に近所のスーパーに買い物に行ったり食事の準備や洗濯物のたたみ等をご本人の出来ることを一人一人見つけ、共に生活する関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族は出来る限り介護に参加して頂きたいので病院への受診・行事への参加・面会等ご本人を支える関係を作り、機会を作っている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所後も近所の方々や友人が訪問して頂ける明るい雰囲気や対応に努めている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者様同士の関係が良好に保たれるよう食事の席や行事、外出等個人の状況を把握し支援している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の経過をお伺いしたり、退居後のご家族からの問い合わせ等に対する支援に努めている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できる限り一人一人の思いや暮らし方について対応出来るよう話を伺い買い物や食事、外出時には家族と相談し外泊の機会を作るなど意向に添えるよう対応している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご家族様ご本人様から情報収集させて頂きサービス提供に生かしている。ご家族の環境に近づけたいので家で利用していた物を持ってきて頂けるようご家族にお願いしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の日々の状態観察やご家族との定期的な情報収集と経過報告をし、暮らしの現状把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開催しご本人・ご家族の意向を聞き、フロア会議にて職員と話し合い計画を作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援経過、排泄、日報、申し送り等の記録を充実させ情報の共有を図り実践に生かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	無料による病院への送迎や毎日朝からの面会に来る奥様の受入等柔軟な対応、サービスの多機能化に取り組んでいる		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の夏祭りや子供御輿に参加出来るよう自治体に協力して貰い、ご本人が楽しむことができるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望を尊重し適切な医療が受けられるようかかりつけ医と連携を図り支援している		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師の為常時入居者の状況は把握出来ている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な訪問の他入院時介護サマリーを作成し医療との連携を図っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時当事業所で看取りをして欲しいと言うご家族が増えている為ご本人・ご家族の意向を伺い主治医の意見を踏まえてチームとして支援に取り組んでいる		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの研修や緊急時の対応マニュアルを定期的に確認している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を実施し災害時の対応や方法を確認し日常点検に努めている。自治会の防災対策委員・市の職員も混じって防災について対策会議を行った		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重した声掛けや入浴、排泄時にご本人が恥ずかしくないようタオルを使用してできるだけ露出を避けた対応をしている。男性で女性では恥ずかしいという入所者様に対し同性による介助を行っている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が自己決定出来るよう個別にかかわり、声掛けをしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	脳トレ、体操、外出等必ず一人一人にお伺いしご本人のペースでご本人の過ごしたいようご希望に添えるよう対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え等は、ご本人の希望を聞きご本人に選択して頂いており身だしなみも洗面台にてご本人に声掛けして行っている。定期的な理美容への依頼やマニキュア、お化粧等の支援もしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	週2回食事を作る機会を作り、ジャガイモの皮むきやにんじん、タマネギ等を切ってもらなど職員と一緒に準備、食事、片付けをしている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記録し把握に努めている。月1回体重測定をし健康管理に努めている。受診の際には検査データも頂いてきてもらいチェックしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施、ご本人の状態に合わせて歯ブラシやスポンジを使用している。うがいのできない利用者様には歯磨き粉ではなくお茶を利用し清潔を保持している		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	安易に紙おむつを使用せず、排泄チェックシートを一人一人用意し排尿、排便リズムを把握し定期的にトイレ誘導、声かけを行い自立した排泄に向けた支援をしている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の状態を記録にて管理、排便がない時は、水分、食事等の調整を行いそれでも排便のない時は、医師、看護師の指示にて内服薬の調節をしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人一人の身体、皮膚状況に合わせて個浴や機械浴を決め、ご本人に合った入浴を支援している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息、入床して頂けるよう足浴をしたりシャワー浴をして頂く等の支援をしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬のミスがないよう2人体制で確認及び日報にチェック欄を作成し服薬を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に役割を持って生活して頂けるようご本人と話し合い、施設や居室内の片付けや認知症カフェでの手伝いや島トレへの参加など役割や楽しみごとへの支援を行っている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的な季節感を感じて頂けるよう外出レクを計画し、食事、買い物等は、利用者様より申し出があった場合は随時支援している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御本人の希望により本人管理や少額入ったお財布をご本人に管理して頂いている。又、ご家族とも相談し必要な方は、キャッシュカードも本人管理して頂いている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の入居者様は、ご本人の携帯を所持して頂き常に手紙や電話ができるよう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた掲示物の展示、共有部、各部屋の掃除を入居者様に手伝って頂き居心地よく過ごせるよう支援している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間だけでなく地域交流室等一人一人の空間取りに配慮している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご本人、ご家族に居室を選んで頂き今までご自宅で使用されていた馴染みの物を持ってきて頂き心地よく過ごせるよう支援している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	テーブルやいす、浴室、トイレとう安全に配慮し個々に応じた環境作りに努めている		